

日本脳炎の予防接種に関する現状

1. ワクチン出荷量	1
2-1. 予防接種率・被接種者数(平成12～21年度)	2
2-1. 被接種者数(平成22年度)	3
3-1. 副反応報告の状況(平成22年度)	4
3-2. 副反応報告の状況(平成12～21年度)	5
3-3. 副反応報告頻度(平成12～21年度)	6
3-4. 予防接種後副反応報告基準	7
3-5. 薬事法に基づく副作用報告状況	8
参考) 1)-1 日本脳炎患者数	9
1)-2 日本脳炎患者の年齢別発生状況	10
1)-3 日本脳炎患者数、死亡者数状況(平成12年～21年)	11
1)-4 日本脳炎の年齢別発生状況(平成12年～21年)	12
2)-1 年齢／年齢群別の日本脳炎中和抗体保有状況	13
2)-2 年齢／年齢群別の日本脳炎予防接種率	14
3) 日本脳炎ウイルスに対するブタの抗体保有状況	15

1. ワクチン出荷量

(平成22年度)

0.5mL換算(単位:本)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン	0	593,858	0	930,660	151,575	1,080,717	379,013	0	486,983
	1月	2月	3月	合計					
	486,979	432,145	203,981	4,745,911					

(平成23年度予定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン	540,953	486,650	430,000	375,000	485,000	485,000	430,000	485,000	430,000
	1月	2月	3月	合計					
	485,000	410,000	75,000	5,117,603					

2-1. 予防接種率・被接種者数(平成12～21年度)

(予防接種率)

(単位:%)

年度(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1期初回(1回)	84.9	90.6	91.9	92.6	83.0	22.1	4.0	13.7	21.7
1期初回(2回)	81.2	86.5	88.6	89.6	81.1	16.7	3.6	13.3	21.3
1期追加	69.8	72.9	73.6	75.3	70.8	15.6	3.3	6.9	11.8
2期	65.0	67.9	69.3	67.6	65.6	15.8	1.4	3.9	7.0

※対象者は総務省人口推計による対象年齢人口、被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上

(被接種者数)

(単位:万人)

年度(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1期初回(1回)	101	103.9	103.3	108.1	97	25.4	4.5	15	23.2	46.9
1期初回(2回)	96.5	99.3	99.6	104.5	94.8	19.2	4.1	14.5	22.8	41.1
1期追加	82.7	83.5	84.7	88.2	82.5	18.2	3.8	7.7	12.3	11.3
1期 合計	280.2	286.7	287.6	300.8	274.3	62.8	12.4	37.2	58.3	99.3
2期	78.6	78.7	79	81.8	78.9	18.7	1.7	4.6	8.2	7.7
合計	358.8	365.4	366.6	382.6	353.2	81.5	14.1	41.8	66.5	107

※平成12年度から20年度の被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上

※平成21年度の被接種者数は、平成21年6月2日付結核感染症課長通知「日本脳炎に係る定期の予防接種者数の把握について(依頼)」に基づく都道府県からの報告を集計したものであり、全ての市町村及び医療機関から報告あったものではない。また、当該報告は平成21年6月から平成22年3月までの被接種者数を集計したものである。

2-2. 被接種者数(平成22年度)

平成22年12月末現在
(単位:万人)

種類	定期接種時期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計(回数)			
乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン	1期	初回	1回	5.5	5.8	14.6	17.1	13.4	14.3	10.6	8.3	7.9	97.5	193.0	218.1
			2回	5.2	4.0	10.4	17.0	14.8	14.7	11.7	9.3	8.4	95.5		
		追加		0.7	0.5	1.2	2.2	3.1	4.6	5.1	4.3	3.4	25.1	25.1	
	2期		-	-	-	-	0.1	1.2	3.2	3.6	5.9	14.0			
	合計			11.4	10.3	26.2	36.3	31.4	34.8	30.6	25.5	25.6	232.1		
都道府県	報告数		34	25	29	35	33	38	35	35	30				
市町村	報告数		878	558	111	980	1,043	1,080	996	995	867				
医療機関	報告数		10,084	8,583	14,511	18,030	14,568	14,974	17,479	20,197	10,241				

平成21年6月2日付結核感染症課長通知「日本脳炎に係る定期接種者数の把握について(依頼)」に基づく報告。
都道府県から報告があった場合でも、すべての市町村並びに医療機関から報告があったことを意味するものではない。

3-1. 副反応報告の状況(平成22年度)

平成23年1月31日現在

件数	アナフィラキシー	全身蕁麻疹	脳炎脳症	痙攣	運動障害	その他神経障害	局所異常腫脹	全身発疹	39℃以上発熱	異常反応	その他	総数(件)	総数(人)
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン	0	2	2	10	1	2	0	12	63	7	52	151	109

※平成17年1月27日付健康局長通知「定期の予防接種の実施について」に基づく副反応報告のあったもの

定期の予防接種後に発生した一定の基準※を満たす事象については、「定期(一類疾病)の予防接種実施要領」に基づき、診断した医師は直ちに市区町村へ届け出るよう協力を求めており、市区町村からは、都道府県経由、(重篤な場合は直接)で厚生労働省へ報告頂いている。

※3-4「予防接種後副反応報告基準」参照

3-2. 副反応報告の状況(平成12~21年度)

	アナフィ ラキ シー	全身 蕁麻疹	脳炎 脳症	痙攣	運動 障害	その他 神経 障害	局所 異常腫 脹	全身 発疹	39℃以 上発熱	異常 反応	その他	総数 (件)	総数 (人)
平成12年度	13	13	2	6	0	1	0	6	15	9	17	82	72
平成13年度	11	14	0	2	0	1	1	2	12	12	8	63	63
平成14年度	13	11	0	6	0	5	1	6	7	8	5	62	55
平成15年度	7	15	8	10	0	4	0	6	19	9	14	92	80
平成16年度	7	11	5	7	0	5	0	5	19	7	11	77	60
平成17年度	1	1	2	1	0	2	0	1	7	1	8	24	19
平成18年度	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	3
平成19年度	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	3	7	7
平成20年度	0	1	3	0	0	1	0	2	0	2	2	11	9
平成21年度	1	2	1	1	0	2	0	3	11	3	7	31	28

※平成21年度は、「その他」欄にマウス脳による製法の日本脳炎ワクチンによる副反応報告が1件含まれている。

各年度の予防接種後副反応報告書集計報告書

3-3. 副反応報告頻度(平成12~21年度)

	副反応報告数(人)	被接種者数(回)	頻度(10万接種あたり)
平成12年度	72	4,253,391	1.7
平成13年度	63	4,307,583	1.5
平成14年度	55	4,311,446	1.3
平成15年度	80	4,476,121	1.8
平成16年度	60	4,132,470	1.5
平成17年度	19	950,060	2.0
平成18年度	3	141,421	2.1
平成19年度	7	418,812	1.7
平成20年度	9	666,631	1.4
平成21年度	28	1,069,577	2.6

※副反応報告数は、平成17年1月27日付健康局長通知「定期の予防接種の実施について」に基づく副反応報告により計上

※平成12年度から平成20年度までの被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上

※平成21年度の被接種者数は、平成21年6月2日付結核感染症課長通知「日本脳炎に係る定期の予防接種者数の把握について(依頼)」に基づく都道府県からの報告を集計したものであり、全ての市町村及び医療機関から報告あったものではない。

また、当該報告は平成21年6月から平成22年3月までの被接種者数を集計したものである。

3-4. 予防接種後副反応報告基準

臨床症状	接種後症状発生までの時間
① アナフィラキシー	24時間
② 脳炎、脳症	7日
③ その他の中枢神経症状	7日
④ 上記症状に伴う後遺症	*
⑤ 局所の異常腫脹（肘を越える）	7日
⑥ 全身の発疹又は39.0℃以上の発熱	2日
⑦ その他通常の接種ではみられない異常反応	*

注1 表に定めるもののほか、予防接種後の状況が次に該当すると判断されるものは報告すること。

① 死亡したもの、② 臨床症状の重篤なもの、③ 後遺症を残す可能性のあるもの

注2 接種から症状の発生までの時間を特定しない項目（*）についての考え方

① 後遺症は、急性期に呈した症状に係るものを意味しており、数ヶ月後から数年後に初めて症状が現れたものは、含まないこと。

② その他通常の接種ではみられない異常反応は、予防接種と医学的に関連あるか、又は時間的に密接な関連性があると判断されるものであること。

注3 本基準は予防接種後に一定の症状が現れた者の報告基準であり、予防接種との因果関係や予防接種健康被害救済と直接結びつくものではない。

3-5. 薬事法に基づく、副作用報告状況

(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)

(承認時～平成23年1月31日まで)

副作用器官別大分類(SOC)	副作用名	件数
胃腸障害	嘔吐	6
一般・全身障害および投与部位の状態	溢血	1
	倦怠感	1
	状態悪化	1
	全身性浮腫	2
	粘膜出血	1
	発熱	28
	浮腫	1
	歩行障害	1
	感染症および寄生虫症	気管支炎
	手足口病	1
	無菌性髄膜炎	1
眼障害	眼瞼浮腫	1
	瞬目過多	1
筋骨格系および結合組織障害	横紋筋融解	1
	関節痛	1
	四肢痛	1
血液およびリンパ系障害	血小板減少性紫斑病	1
	特発性血小板減少性紫斑病	1
呼吸器、胸郭および縦隔障害	口腔咽頭痛	1
	鼻出血	1
	喘息	1

副作用器官別大分類(SOC)	副作用名	件数
神経系障害	ジスキネジー	1
	てんかん重積状態	1
	意識消失	1
	意識変容状態	1
	急性散在性脳脊髄炎	1
	構音障害	1
	小脳性運動失調	2
	振戦	1
	第7脳神経麻痺	1
	頭痛	1
	熱性痙攣	10
	脳炎	1
	脳症	1
	片麻痺	2
	痙攣	6
腎および尿路障害	乏尿	1
精神障害	異常行動	1
代謝および栄養障害	低蛋白血症	1
皮膚および皮下組織障害	ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	1
	紅斑	1
	多形紅斑	1
	点状出血	2
	発疹	2
	皮下出血	1
	蕁麻疹	6
免疫系障害	アナフィラキシーショック	1
	アナフィラキシー反応	2
臨床検査	血小板数減少	1
	白血球数減少	1
総計		108

医薬食品局安全対策課提供資料

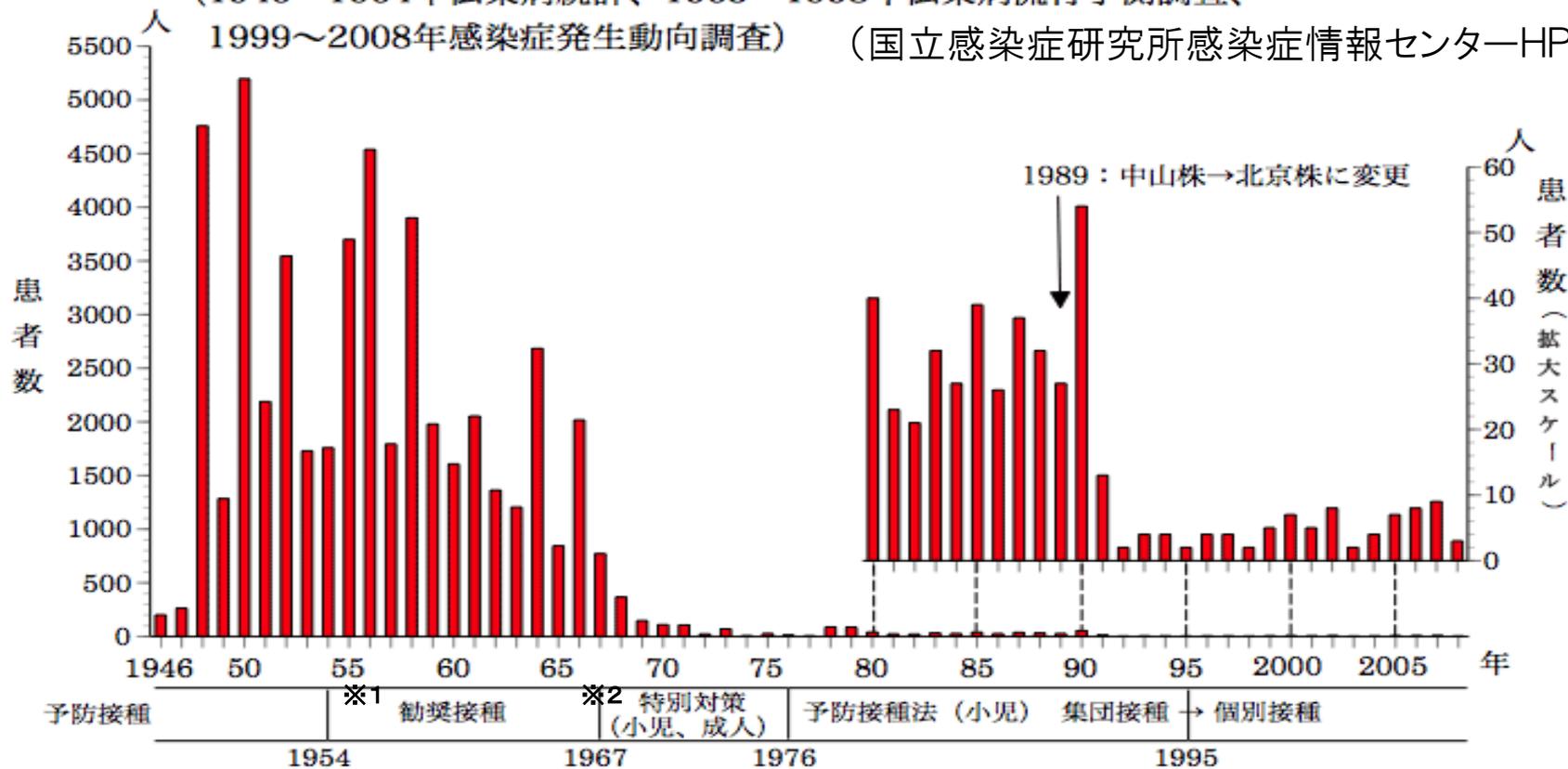
薬事法に基づく副作用の報告は、当該品目の使用によると疑われる疾病、障害又は死亡の発生等の重篤症例について報告するものであり、予防接種実施要領に基づく副反応報告と、基準が異なるもの。

参考1)-1 日本脳炎患者数

日本脳炎患者発生状況の推移, 1946~2008年

(1946~1964年伝染病統計、1965~1998年伝染病流行予測調査、

1999~2008年感染症発生動向調査) (国立感染症研究所感染症情報センターHPより)



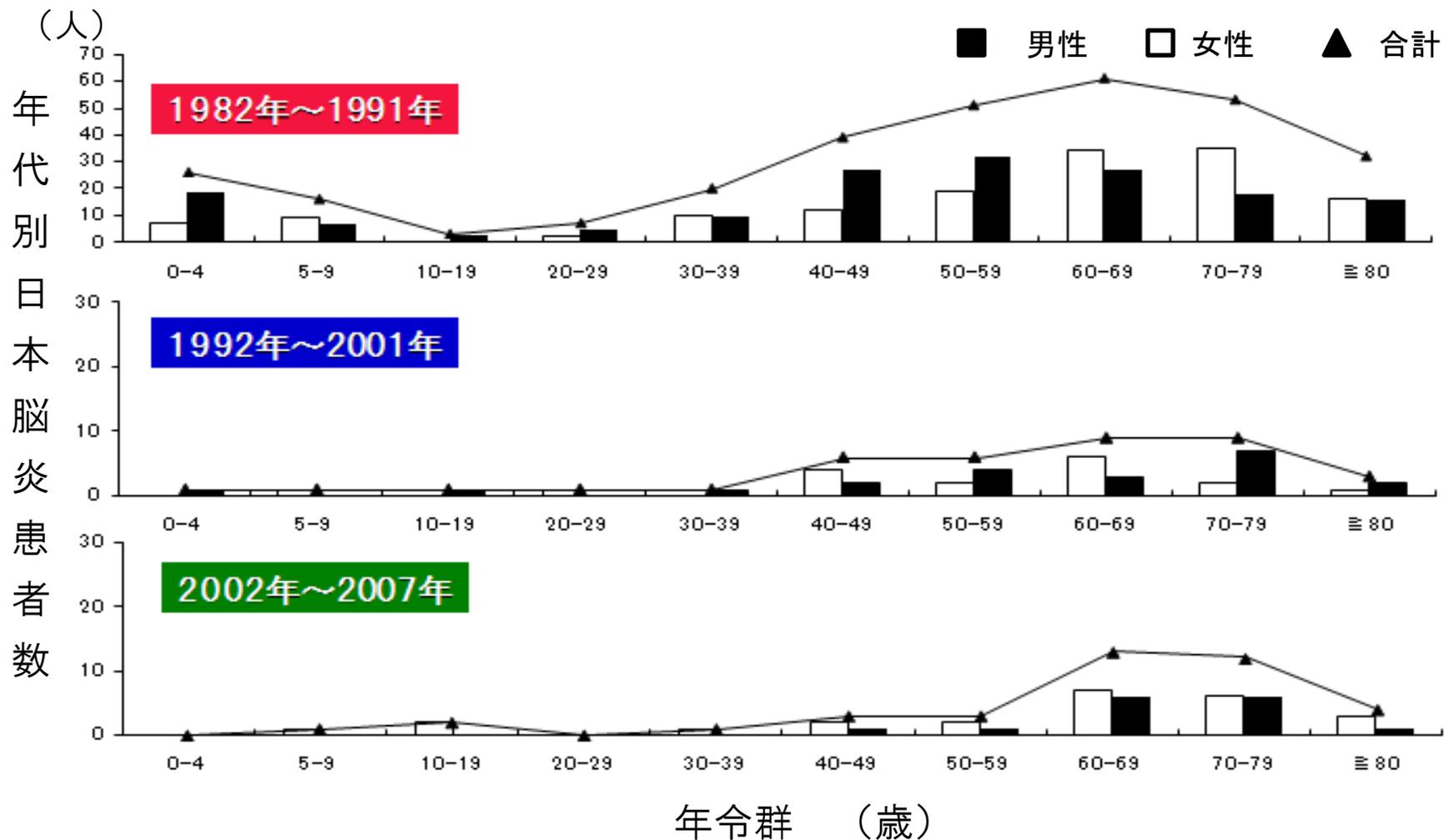
※1 : 昭和29年5月26日付衛発第73号公衆衛生局長通知: 日本脳炎防疫対策要綱について

昭和30年6月16日付衛発372号公衆衛生局長通知: 日本脳炎防疫対策要綱の補遺について

昭和32年7月18日付衛発592号公衆衛生局長通知: 日本脳炎の予防対策について

※2 : 昭和42年5月23日付衛発第360号公衆衛生局長通知: 昭和42年度における日本脳炎等予防特別対策について

参考1)-2 日本脳炎患者の年齢別発生状況



平成18年度感染症発生動向調査より
 国立感染症研究所感染症情報センター
 多屋室長提供資料

参考1)-3 日本脳炎患者数・死亡者数状況 (平成12年～21年)

(単位：人)

年（平成）	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
罹患者数	7	5	8	1	5	7	7	10	3	3
死亡者数	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0

罹患者数は「感染症発生動向調査」、死亡者数は「人口動態統計」より

平成12年から21年までの日本脳炎患者報告数は毎年、10人以下だが、一定の傾向はない。死亡者については、平成18年の1例以降、報告されていない。

参考1)-4 日本脳炎の年齢別発生状況 (平成12年～21年)

(単位：人)

年齢群 (歳) 平成(年)	0-4	5-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
12	0	0	0	0	1	1	0	1	2
13	0	0	2	0	0	0	1	1	2
14	0	0	0	0	0	1	2	1	4
15	0	1	0	0	0	0	0	1	0
16	0	0	0	1	0	0	1	0	2
17	0	0	0	0	1	0	1	2	3
18	1	0	1	0	0	2	2	2	0
19	0	0	1	0	0	3	0	3	3
20	0	0	0	0	0	0	2	1	0
21	1	1	0	0	0	1	0	0	0

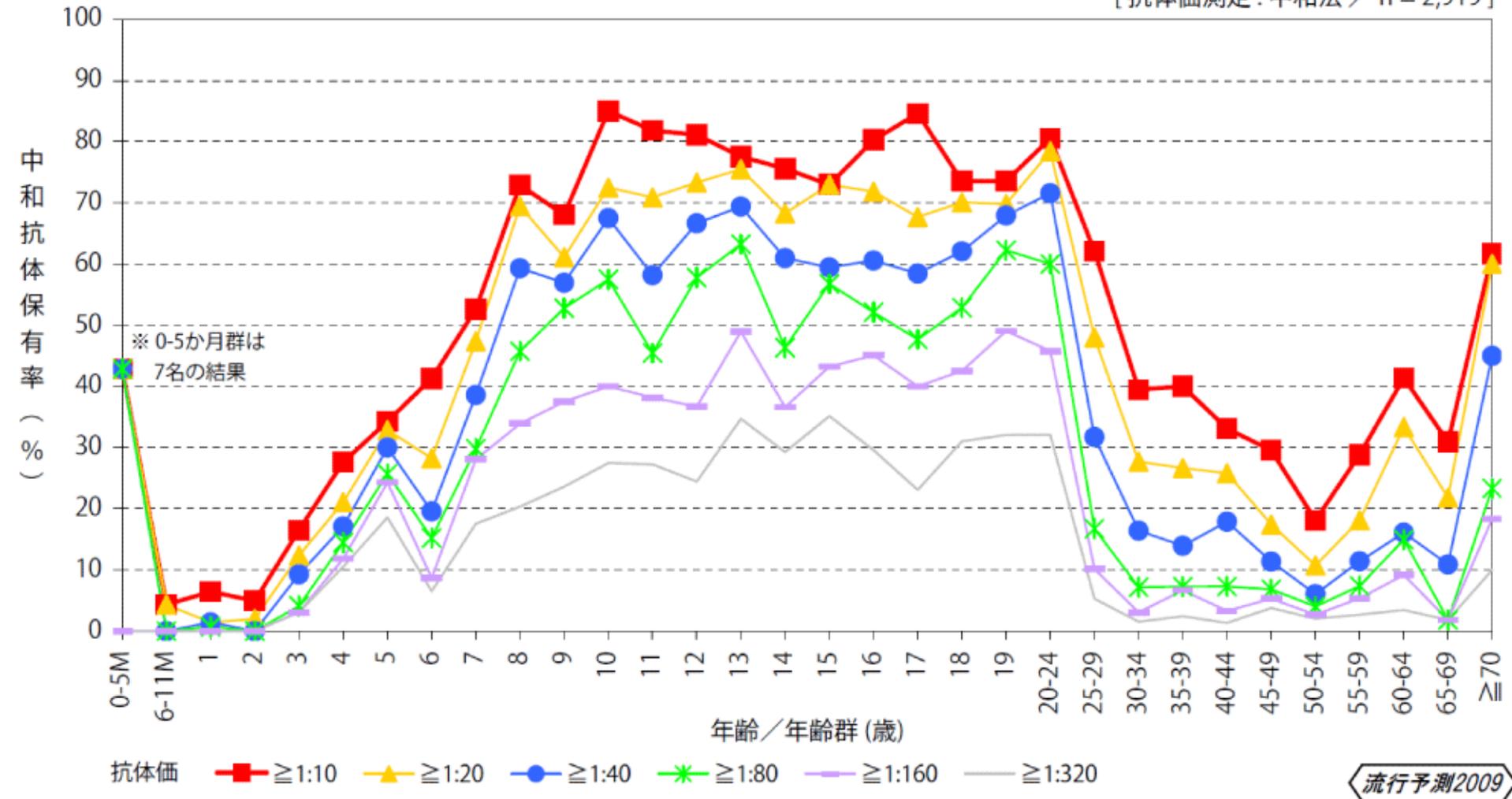
「感染症発生動向調査」より

平成21年においては、1歳、8歳、40代の計3名に患者が発生した。

参考2)-1 年齢/年齢群別の日本脳炎中和抗体保有状況 ~2009年度感染症流行予測調査(暫定結果)~

(調査担当:東京都、三重県、京都府、大阪府、山口県、愛媛県、熊本県、沖縄県、国立感染症研究所)

[抗体価測定:中和法 / n = 2,919]



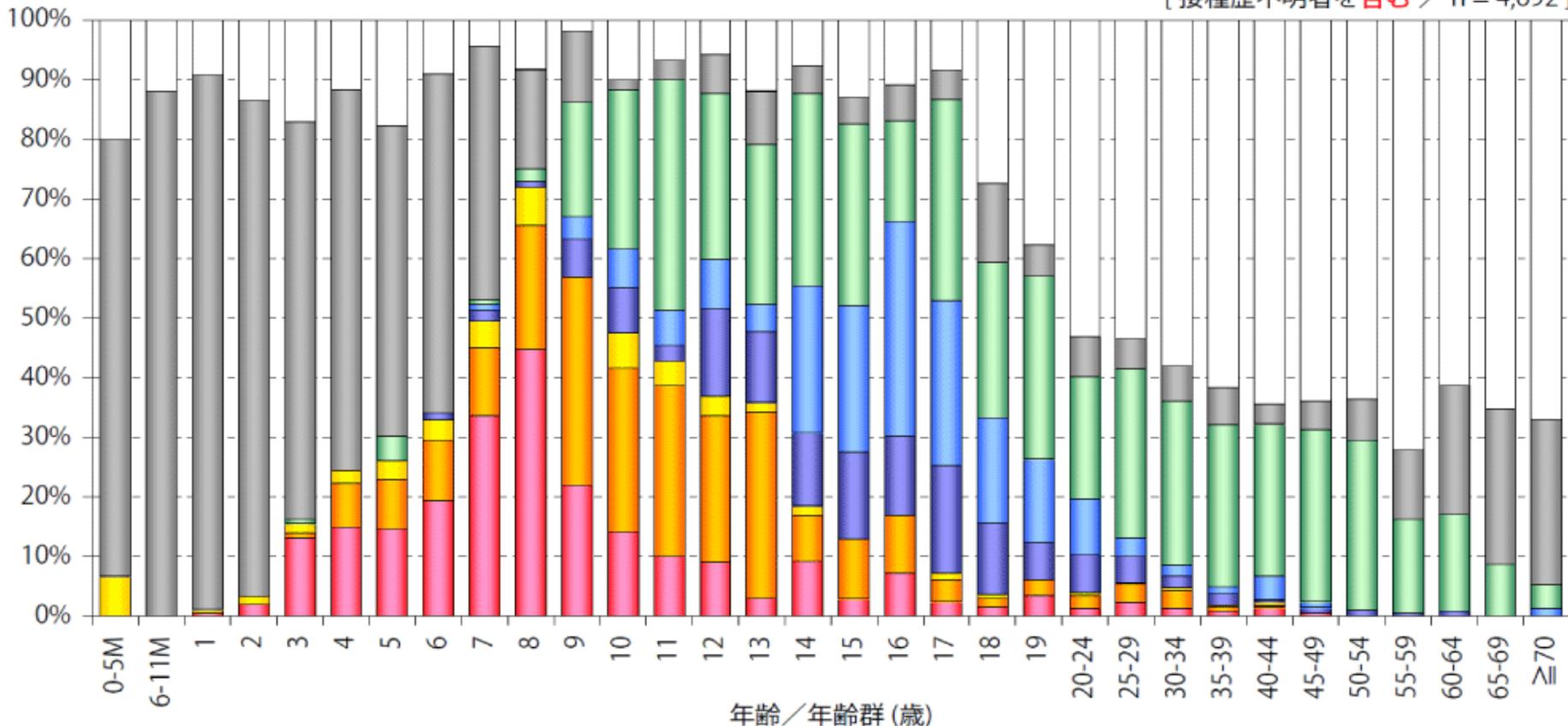
平成21年度感染症流行予測調査より(国立感染症研究所感染症情報センター)

参考2)-2 年齢/年齢群別の日本脳炎予防接種率

～2009年度感染症流行予測調査(暫定結果)～

(調査担当:宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、東京都、富山県、長野県、三重県、京都府、大阪府、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県、国立感染症研究所)

[接種歴不明者を含む / n = 4,692]



接種歴
 ■ Ⅰ期3回未接種者 [n=262] ■ Ⅰ期3回接種者 [n=277] ■ Ⅰ期接種回数不明者 [n=52] ■ Ⅰ期3回未満 + Ⅱ期接種者 [n=180] ■ Ⅰ期3回 + Ⅱ期接種者 [n=229] ■ 接種回数不明者 [n=931] ■ 未接種者 [n=952] □ 接種歴不明者 [n=1809]

※ Ⅰ期:基礎免疫(初回2回+追加1回) / Ⅱ期:追加免疫(1回)

流行予測2009

平成21年度感染症流行予測調査より(国立感染症研究所感染症情報センター)

参考3) 日本脳炎ウイルスに対するブタの抗体保有状況(2005年~2009年)

